

金物工法で「パネル十建て方」提案

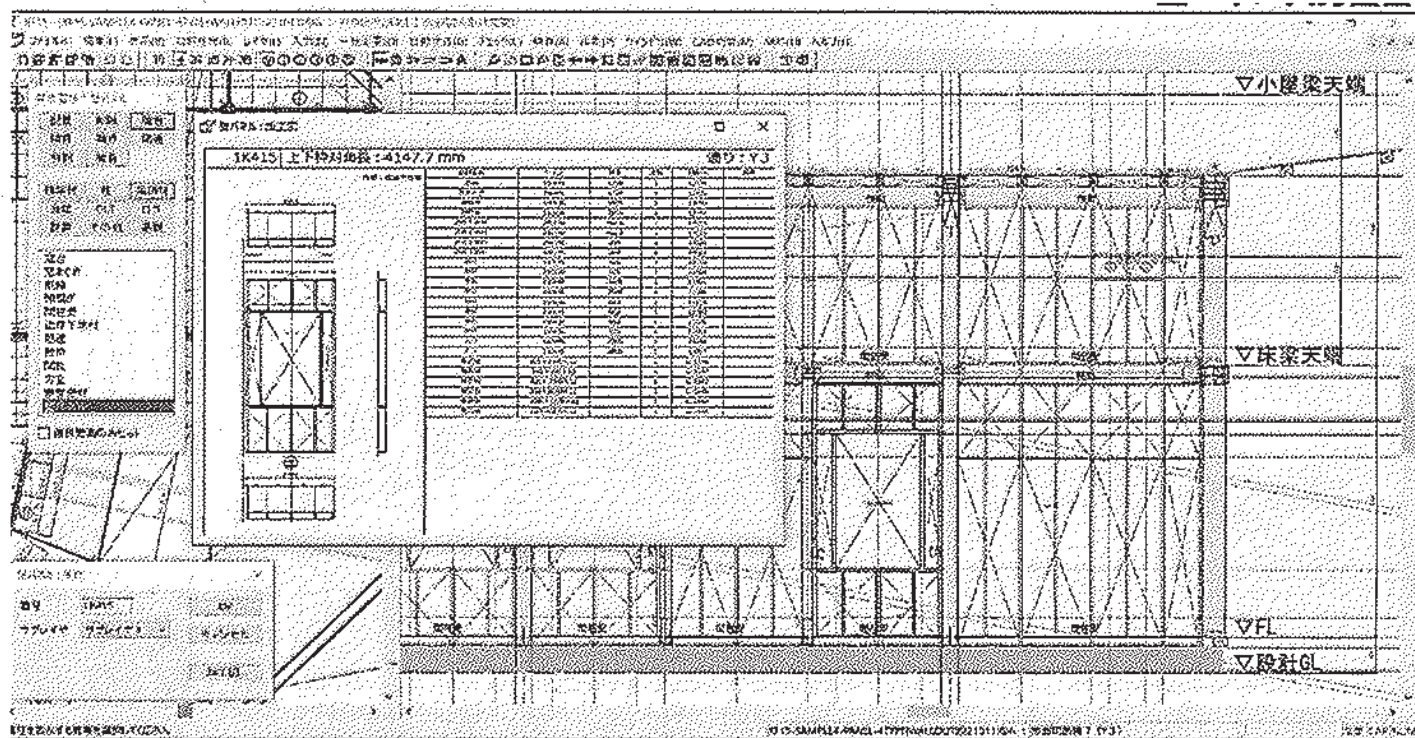
非住宅の合理化に特に有効

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は、建設、物流の2024年問題への対策として金物工法による「パネル化十建て方」の提案を強化している。同社がプレカット工場を対象に実施したアンケート調査では職人不足に有効な対策として「パネル化」「建て方」を挙げる工場が多く、取り組む場合には職人技術が不要でパネルに適した金物工法が最も有利と考える

現場作業を省力化できるパネル化と職人技術が不要な金物工法は職人不足対策として有効との見方が多く、取り組みプレカット工場も増えている。祖父江社長は「在来工法でもパネル化はできるが、ホールダウン金物を避けて枠材を欠き取った場合、せつかくのパネル強度が損な

XF15羽柄／合板CADによる壁パネル入力画面



われてしまう。柱脚金を無償で提供しており、住宅向けのプレカットCAD「Xstair」と同様に金物メーカーの仕様規定に基づいて合理的に入力でき

は、強度が明確でスパンを飛ばせる金物工法が最も安全な構造と考えられ、規模が大きいだけにパネル化による省力化効果も大きい」と話す。同社の非住宅プレカットCAD「XF15」では、金物工法のマスターデータ「金物工法マスター」を無償で提供しており、住宅向けのプレカットCAD「Xstair」と同様に金物メーカーの仕様規定に基づいて合理的に入力でき

る。また、羽柄／合板CADで羽柄材と壁、床、屋根の合板を割り付け、パネル化したい範囲を指定すると、指定した範囲でパネルの設計、部材の拾い出し、組立図の作成が自動でできる。祖父江社長は「昨年は住宅着工が約4万戸減少したが、市場の縮小は今に始まった傾向ではなく、十数年前から予想されていた『既に起こった未来』。だが、いざ減少局面に至ると、非住宅分野の開拓へと業界の意識は一変した。アンケート結果からは、約7割の工場が職人不足対策は『パネル化十建て方請負』と捉えており、非住宅プレカットとともに今後の成長の鍵になる」と話す。